

あいづ松川の放射性物質に対する取り組み

あいづ松川では、お客様にH23年産米をご安心して美味しくお召し上がり頂けます様、さらに細かな自主検査を実施して参ります。

測定方法は、「緊急時における食品の放射能測定マニュアル」（平成14年3月）及び「牛肉中の放射性セシウムスクリーニング法」（平成23年7月29日）に準じています。（厚生労働省医薬食品局食品安全部監視安全課）

迅速検査で使用するNaI(Tl)シンチレーションサーベイメータはγ線測定器であり、ヨウ素131や放射性セシウム(Cs-134・Cs-137)を検出することはできませんが、核種を分析することはできません。

したがって、複数の放射性核種が混在する場合には過大評価となります。

しかしながら、ヨウ素131の半減期は短く、現在は数十万分の1に減少し、相対的に放射性セシウムが主な核種になっていることから、迅速検査法により検出された放射線全てを放射性セシウム由来と見なす事ができるとされています。

測定結果が暫定規制値以内であれば、放射性ヨウ素及び放射性セシウムの核種合計が規制値以内になりますので、安全性評価につながります。



H23年産米の放射性物質調査の流れ

① 農水省

予備調査（収穫前）

- ア. 土壌調査で1,000Bq/kg以上の市町村
旧市町村毎に1点
- イ. 空間放射線量が一定の値(0.1μSv/時)を超える市町村
市町村毎に5点
- ウ. 上記以外の全ての市町村【福島県独自】
市町村毎に5点

玄米 1kg あたり
200Bq 超

200Bq 以下

② 農水省

本調査（収穫後）

- 重点調査区域
概ね15ha（一集落）毎に2点
【福島県独自（国基準1点）】
- その他の調査区域
旧市町村毎に2点
【福島県独自（国基準1点）】

500Bq 超

500Bq 以下

旧市町村毎に

出荷停止

市町村毎に
販売可能



③ あいづ松川

自主検査（集荷後）



NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ
(BNC社製 SAM940-2-G)

市町村毎に
販売可能

入荷ロット毎に1点
(生産者・品種・入荷日)

放射線汚染の可能性あり

④ 公的検査機関

自主再検査

対象毎に1点

100Bq 超

ND ~ 100Bq 以下

販売停止

公的証明書付
販売

放射線汚染の可能性なし

販売

※ 生産者毎に、旧市町村が分かるように集荷

あいづ松川では、農水省の調査に加え、自主検査を入荷ロット毎に必ず行います！
「安全」の確認できたお米のみをお届け致しますので、ご安心してお求め下さい。